

石川 和也

今月から3回の予定でNetscapeの製品概要を紹介していく。第1回は、いま急速にユーザーを増やしている「Netscapeナビゲーター」について、最新バージョン1.1の機能、操作方法、Preferenceの設定方法などを紹介する。この原稿を作成する時点で使ったのはBetaバージョンだが、完成度は高く十分に使用できる。

Netscapeのすべて

第1回 クライアントとしてのNetscape

NCSA Mosaicが独走していた昨年の10月、突如現れたWWWブラウザ「Netscapeナビゲーター」は、その快適な使い心地のゆえに、またたくまに世界に広まった。これまでの累計出荷本数は400万本を超え、じつに世界のWWWブラウザ使用者の70パーセント以上がNetscapeを使用しているという。

わが国においては、2月22日にNetscape Communications Corporationの日本法人として、ネットスケープコミュニケーションズ(株)が発足し、すでに知られているように、Windows版およびMacintosh版の最新バージョン「1.1 Beta」では、なんと日本語表示機能が装備されている。

まだNetscapeを使ったことのない人や、Betaという響きから完成度を疑って1.0N

や0.9xを使い続けている人は、この機会にぜひ1.1 Betaを入手することを勧める。

Netscapeナビゲーターの入手方法

4月10日現在では、1.1 Beta 3がリリースされている。リリース日が4月1日であったことから、一部では「Netscapeのエイプリルフールか!？」とも言われたが、きちんとしたリリースのようだ。

<ftp://ftp.netscape.com/netscape1.1b3>から入手することができる。このライセンスは6月30日まで有効であり、評価用もしくは学校関連および非営利での使用に限られていることは、以前と変わらない。

製品版の出荷後はこれらの目的のためのフリー版の配布が行われたいのではないかと

という噂もあったが、Netscape社では今後も非営利などのためにフリー版を配布し続けていくとのことだ。

Netscapeの配布については、これまでよりも厳しくなった。1.0Nではコマースサイトであれば再配布が可能だったが、1.1 BetaではmirrorをするためにはNetscape社の承認を得なければならない。そのため、日本国内でミラーサイトとアナウンスしているサイトは極く小數で、netscape.comへのアクセスが集中しているため、FTPサーバーからアクセスを拒否されることも多い。

Netscapeのインストール

Netscapeのインストールは、非常に簡単だ。

Window版

N16E11B3.EXEは、自己解凍ファイルとして提供されており、DOS上で実行するとセットアップに必要なファイルが展開される。展開後にSETUP.EXEをWindowsから実行すると、セットアップが実行され

る。デフォルトはC:\NETSCAPEにインストールし、Netscapeというグループを作成する。

なお、32ビット版もリリースされているが、Windows NTのみの対応となっているので、win32sをインストールしてもWindows 3.1では利用できない。

このほかに、米国内だけに使用が制限されているセキュリティ機能が強化されたバージョンもある。

Macintosh版

Netscape 1.1b3 Installerは、BinHexフォーマットで提供されているので、Stuffit Expanderなどのソフトでデコードする。インストーラアイコンをダブルクリックすると、インストールが実行される。簡易インストーラを選ぶと、インストーラが68000系かPowerPCかを自動判別してインストールする。どちらの環境でも使用できるFat Binary版をインストールするには、カスタムインストーラを選択する。

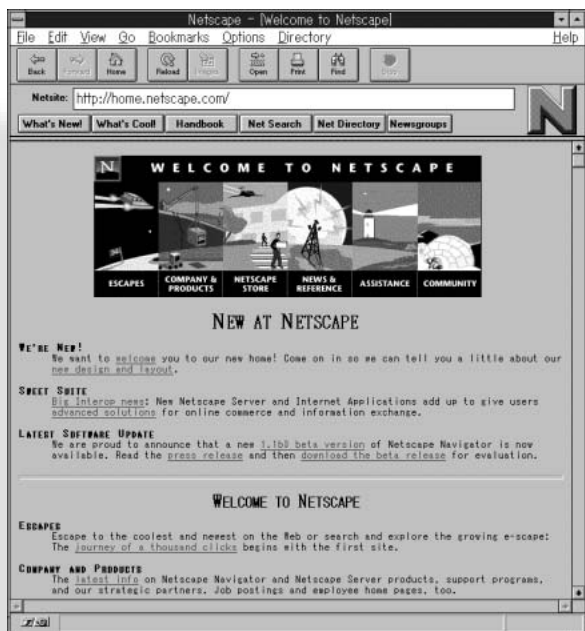
バージョン1.1の新機能

バージョン1.1では、数々の新機能やパフォーマンスの向上が図られている。

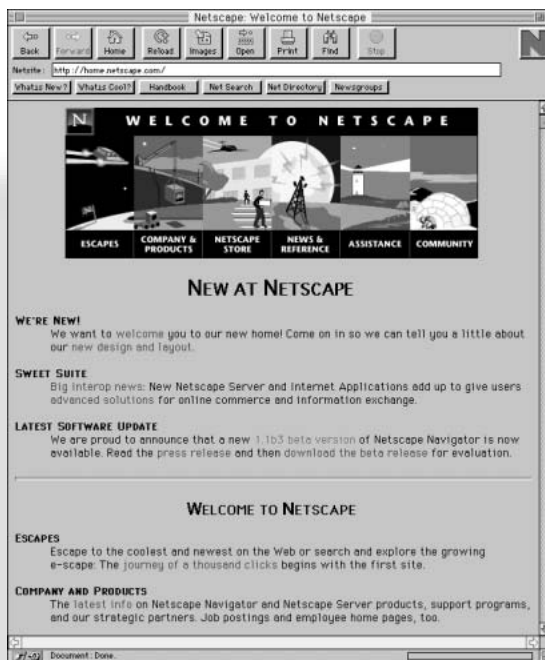
- 日本語のサポート
- キャッシュの強化
- HTML 3.0のサポート
- dynamic documentのサポート
- popup menuのサポート
- NCAPI、NSAPIの提供

ここでは、これらの機能について、現在リリースされているBeta版をもとにして説明する。

ただし、UNIX版については4月1日にリリースされたBeta 3でも、まだ日本語表示はサポートされていない。正式リリースの際にはサポートされる予定なので、しばらくの辛抱だ。Netscape社の発表によると、Windows : Macintosh : Unixの出荷比率は6 : 2 : 2とのこと。SUN、SGI、HP、IBMなどさまざまなUNIXプラットフォームを合わせても全出荷量の2割にしかならないため、個別対応が必要とされる



Windows版 Netscape 1.1 Beta 3



Macintosh版 Netscape 1.1 Beta 3

UNIX版については、正式版まで日本語表示機能のサポートが見送られたようだ。

日本語のサポート

Windows版、Macintosh版で待望の日本語への対応が行われた。メニューなどはまだ日本語で表示されないが、コンテンツ部分の日本語対応が行われ、漢字コードの自動判別（JIS、EUC、S-SJIS）やワードラップもサポートされている。また、入力フィールドでの漢字の入力もできるようになった。

キャッシュの強化

バージョン1.1では、大幅なパフォーマンスの向上が図られた。以前の1.0Nにおいても、他のブラウザに比べて圧倒的な速さを誇っていたが、バージョン1.1ではさらにスピードがアップしている。これは、1.0Nでも行っていたincrease loading および複数読み込みに加えて、キャッシュを強化したことによる。

キャッシュの設定は、1.0Nではそのサイズとディスクキャッシュの位置を指定するだけだったが、1.1では新たにキャッシュを更新するタイミングを指定できるようになった。

Once per session

Every Time

Never

キャッシュは、メモリキャッシュとディスクキャッシュの2種類をサポートしている。

HTML3.0のサポート

HTMLの次期バージョンであるHTML3.0の仕様作りが進められているが、Netscapeはそこに含まれると思われるいくつかの機能を、先取りする形でサポートしている。W3Oから提供されている「Arena」などではすでにサポートされていたので、Netscapeが追いついた形である。ただし、機能拡張の実現方法については両者に若干の違いが見られる。HTMLの拡張仕様はドラフトの段階であり、どの方式が採用されるかは未定である。Netscapeとしては、標準として採用された書式をサポートすると発表している。そのため、これらの機能は今後リリースされる正式版では多少異なったものとなる可能性がある。

実際には、すでに多くのWebページがNetscapeの機能を利用して作成されているため、Netscapeでないと正しく表示されないページが数多く出ていることも事実である。

さて、このような拡張機能のうちの1つが、table（テーブル）だ。これはスプレッドシートのような表をWeb上で表現するためのもので、もちろん漢字を表示させることも可能だ。

また、バックグラウンドにカラフルなイメージを張り付けることが可能になった。イメージが張り付けられると、テキストがトランスペアレントに表示されるため、あまり複雑なイメージを使用すると肝心のテキストが読めなくなってしまうことがある。単純な模様にとどめるか、またはバックグ

ラウンドイメージを想定してテキストを作成たほうがよいだろう。

イメージはタイル張りで表示され、現時点ではWindowsの壁紙のように中央に配置させることはできない。

イメージではうとうしいという場合には、背景色を変えることもできる。

ただし、バックグラウンドイメージはAuto Image Loadを無効にした場合には読み込まれないことに注意してほしい。

dynamic documentのサポート

これまでWebのページでは、静的なデータしか表示をすることができなかった。そのため、株価のデータや心電図などのような時間で変化をするデータを表示することは、不可能に近かった。

このdynamic document機能を利用するとそれが可能になる。ただし、リアルタイム動画というよりも、絵本をパラパラめくるというレベルである。「警告」や「新製品情報」のようなユーザーの注意を引きたいメッセージは、この機能を利用することで効果的な表示をさせることが可能となった。

ただし、dynamic documentでは表示データが垂れ流しのようにして送信されるために、ネットワークの能力が要求される。

Popup Menuのサポート

コンテンツ画面上で右ボタンをクリックする（Macではマウスボタンを押し続ける）と、ポップアップメニューが表示される。



Toolbar



Directory Buttons



ポップアップメニューでは、ページを前後に移動したりブックマークを指定したりすることができる。画面上にツールバーを表示していないときに使うと便利な機能だ。

また、バージョン1.1からは表示されているリンク情報やイメージをファイルに保存することができるようになった。これまでは、表示されている画面をHTMLソースとして参照することは可能だったが、そこで使用されているイメージ（GIFフォーマットなど）を入手することは困難だった。

このポップアップメニューでイメージの保存がサポートされたことにより、GIFやJPEGのようなインラインで表示されるイメージも取得できるようになった（著作権を侵害しないよう、取り扱いには十分注意してほしい）。

NCAPI、NSAPIの提供

バージョン1.1から、NCAPI（Netscape Client API）およびNSAPI（Netscape Server API）が提供されるようになった。これはWindowsでのDDEやOLE2、UNIXでのX Property、またMacintoshでのApple Eventなどのようにアプリケーション間のコミュニケーションを利用してNetscapeと外部アプリケーションがデータ

などのやり取りをするための手段を提供する。詳細については、次号以降で説明を予定している。

Netscapeの操作

それでは次に、Netscape 1.1 Beta 3の画面を例にとって、Netscapeの操作方法を説明する。Netscapeでは、ToolbarとDirectoryButtonszを使うことで、ほとんどの操作が可能になっている。

Toolbar

- Back:**前の画面に戻る
- Forward:**戻した画面を進める
- Home:**「preferences」の「styles」で指定されたホームページに行く
- Reload:**現在表示されているコンテンツを再度読み込む
- Images:**自動イメージ読み込みモードでないときに、イメージを読み込む
- Open:**URLを入力してWeb、Gopherなどのサイトにアクセスする
- Print:**コンテンツを印刷する
- Find:**コンテンツ中から指定した文字列を検索する
- Stop:**サイトへのアクセスを中止する

Directory Buttons

よく参照されるページに直接アクセスするためのボタンが用意されている。

- What's New:Netscape** 社が提供する最新情報のページへアクセスする
- What's Cool:Netscape** 社が提供するクール

な情報へのページへアクセスする

Handbook:Netscape のオンラインハンドブックへアクセスする

Net Search:サーチエンジンへアクセスする

Net Directory:Yahoo や**Virtual Tourlist** などのディレクトリサービスへアクセスする

News Groups:NetNews を読む

Location

Toolbarの下には、接続しているサーバーの種類とURLが表示される

Netsite: サーバーが**Netsite**（Netscape社で開発したWebサーバーソフト）であった場合には、「Netsite」と表示される

Location:Netsite 以外のサーバー（CERN、NCSAなど）であった場合には「Location」と表示される

Goto:現在表示されている画面とURLが異なっている場合には「Goto」と表示される

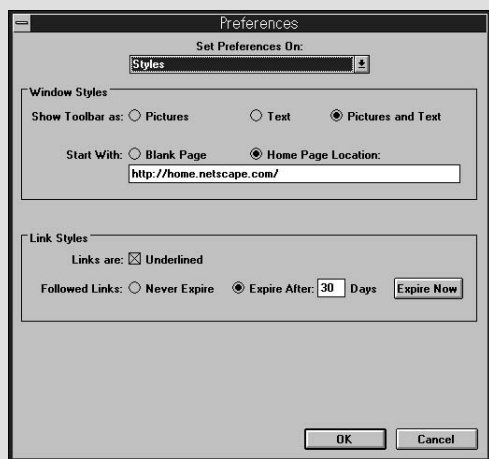
Preferences...メニュー

Netscapeを使用者の環境に合わせてカスタマイズするのが、Preferencesの機能だ。Windows版、Macintosh版では一部内容が異なっている。ここではWindows版を使って機能を紹介する。設定値については、各図を参考にしてほしい。

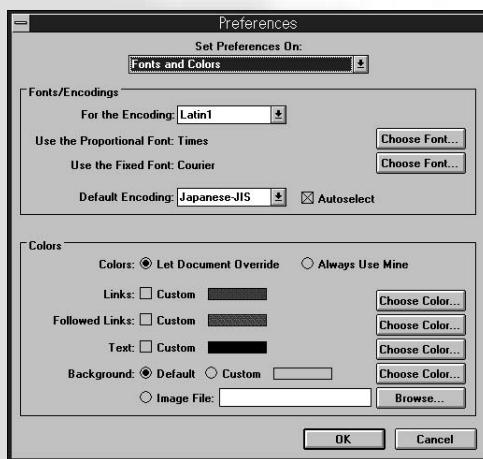
Styleuttons

Windows Styles

- Show Toolbar as:**ツールバーの表示方法
- Pictures:**アイコンで表示する



Styles



Fonts and Colors

Text:文字で表示する

Pictures and text:アイコンと文字で表示する

Start With:Netscape を起動したときに最初に参照されるページ (URL)。ツールバーの **Home** ボタンを押したときも、このページが参照される

Blank Page:ページを参照しない

Home Page Location:指定したページを参照する

Link Styles

Links are:リンクについての設定

Underlined:チェックすると、コンテンツのリンク部分に下線が付く

Followed Links:一度参照したリンクについての設定

Never Expire:参照済み表示色を解除しない

Expire After xx Days : xx 日後に参照済み表示色を解除する

Expire Now:いま、参照済み表示色を解除する

Fonts and Colors

Fonts/Encodings

フォントおよび文字コードセットについての設定。日本語は、S-JISコードはもちろん、JISコードおよびEUCコードにも対応しているので、コード変換のためにDelegatなどを使わなくてもよくなった。

For the Encoding:使用する言語を指定する

Use the Proportional Font:プロポーショナルフォントの書体とサイズを指定する

Use the Fixed Font:等幅フォントの書体とサイズを指定する

Default Encoding:デフォルトの文字コードセットを指定する

Auto select:漢字コードの自動判別をする

Colors

Colors:表示色に関する設定

Let Document Override :ドキュメントが指定した色を使用する

Always Use Mine:つねにここで指定した色を使用する

Links:ドキュメント内で、他のドキュメントにリンクしている箇所の色

Custom:色を指定する

Followed Links:参照済みのリンクの色

Custom:色を指定する

Text:文字の色

Custom:色を指定する

Background:背景の色やイメージ (GIF フォーマット) を指定する

Default:デフォルト色を使用する

Custom:色を指定する

Image File:イメージファイルを使用する

Mail and News

メールを送信したりNetNewsを読んだりする場合に必要な各種サーバなどの指定をする。メールを送信するときは、URLを「mailto:メールアドレス」と、またNetNewsを購読するときは、URLを「news://サーバ名/ニュースグループ

名」と指定してLocationをOpenする。

MIME対応になっているので、日本語混じりでも送受信することができる。

Mail

Mail[SMTP]Server:Mailサーバ名を指定する

Your Name:名前を指定する

Your Email:メールアドレスを指定する

Your Organization:所属を指定する

Signature File:シグネチャを保存してあるファイル指定する

News

News[NNTP] Server:NetNews サーバー名を指定する

News RC Directory:RC (Run Command) ファイルを保存するディレクトリを指定する

Show xxx Articles at aTime:一度に表示するアーティクルの数をxxxで指定する

Cache and Network

Cache

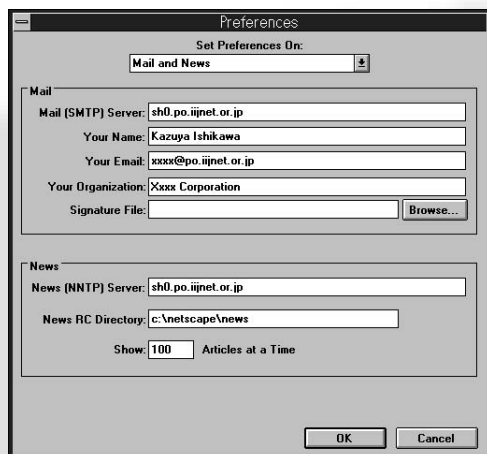
Memory Cache xxx Kilobytes:メモリーキャッシュのサイズをxxxで指定する

Clear Memory Cache Now:ボタンを押すとメモリーキャッシュがクリアされる

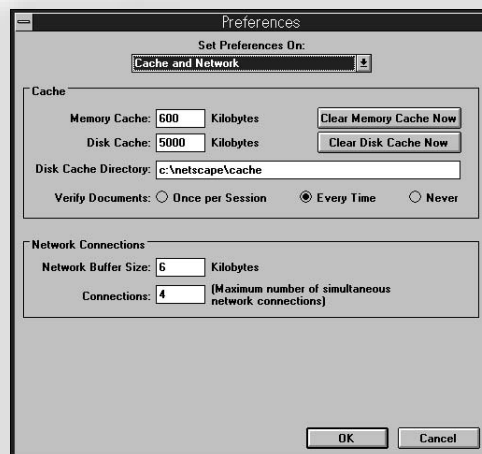
Disk Cache xxx Kilobytes:ディスクキャッシュのサイズをxxxで指定する

Clear Disk Cache Now:ボタンを押すとディスクキャッシュがクリアされる

Disk Cache Directory:保存しておくディレクトリを指定する



Mail and News



Cache and Network



Verify Document: キャッシュしている実体が更新されているかどうかチェックするタイミング

Once per Session: そのセッションにおいて一度確認する

Every Time: ドキュメントが参照されるたびに確認する

Never: キャッシュがクリアされるまで参照しない

Network Connections

ドキュメントを取り込むためのバッファや同時に接続されるコネクションの最大数を指定する。あまり多くするとネットワークに負荷をかけるので注意が必要だ。起動時に「メモリが足りません」というメッセージが表示されるときには、このバッファサイズを減らすと解決することもある

Network Buffer Size xxx Kilibytes: バッファのサイズを xxx で指定する

Connections: コネクションの最大数を指定する

Applications and Directories

Supporting Applications

Telnet Application: URL を「telnet://ホスト名」と指定したときに起動されるアプリケーションを指定する

TN3270 Application: URL を「tn3270://ホスト名」と指定したときに起動されるアプリケーションを指定する

View Source: View メニューの Source を選択し現在のドキュメントの HTML ソースを見る場合に起動されるアプリケーションを指定する

Directories

Temporary Directory: テンポラリディレクトリを指定する

Bookmark File: ブックマークを保存しておくファイル指定する

Images and Security

Images

Colors: ディスプレイでサポートされていない色が指定された場合の処理

Dither to Color Cube: ディザ処理する

Use Closest Color in Color Cube: いちばん近い色で表示する

Display Images: イメージの表示方法

While Loading: イメージを読み込みと同期させながら表示する

After Loading: イメージの読み込みが終わってから表示する

Security Alerts

セキュアなドキュメントにアクセスしたとき、その旨をポップアップメニューとして警告するかどうかを指定する。

Proxies

各種 Proxy サーバおよび SOCKS を経由して外部にアクセスする必要がある場合に、アプリケーションごとのサーバとポート番号を指定する。

Helper Applications

読み込むドキュメントに応じて起動される外部アプリケーションを指定する。ドキュメントの種類は、ファイル名のエクステンションで区別される。

Netscape では、GIF だけでなく、JPEG でエンコーディングされたファイルも外部アプリケーションを起動せずインラインで表示させることができる。

また、音声データとしては、AU および AIFF フォーマットのファイルを再生するためのアプリケーションが付属しているが、動画の再現などでは外部アプリケーションを起動する必要がある。

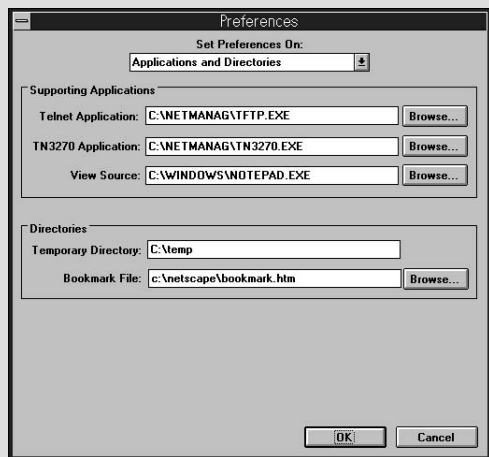
そのような場合には、ここでファイル拡張子と対応する外部アプリケーションを指定しておく必要がある。

Netscape ホームページが模様替え

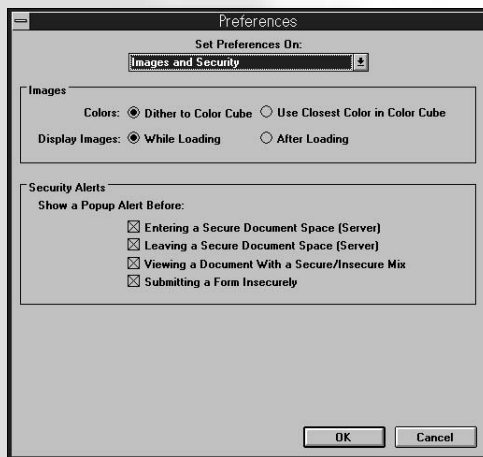
1.1 の Beta 版リリースと時を合わせるようにして、Netscape 社のホームページが模様がえし、お馴染みの「Mozzila」による Welcome メッセージはなくなってしまった。

しかし、Netscape 1.1 Beta でなければ見られないページや、SSL を使ったセキュリティのかかったページ、NUGgies (Netscape User Groups) のニュースページなどが登場した。

新しい Web サーバには、Netscape Navigator のオンラインハンドブック (英文の 1.0N 版だが) をはじめとする、いろいろな役立つ情報が詰めこまれている。1.1 Beta 版を入手したら、いろいろ歩き回ってみてはいかがだろうか。



Applications and Directories



Images and Security



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp